



決算補足説明資料

2020年12月期 第1四半期

西本Wismettacホールディングス株式会社

2020年5月14日

- 2020年12月期 第1四半期決算概要 P.2
- コロナウイルス感染拡大による当社業績への影響 P.6
- 会社概要 P.10

2020年12月期 第1四半期 決算概要



売上面では、3月以降の新型コロナウイルスの感染拡大および円高により前年同期比で減収となった。利益面では、貸倒引当金繰入の計上および政策経費の増加等により前年同期比で減益となった

- ◆ 売上高は、1月・2月は前年比を上回って進捗したものの、円高進展に伴う円建表記での金額減少および3月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大による外食産業向けの急激な販売の落ち込み等の影響で、前年同期比▲1.6%の430億円と微減となった
- ◆ 営業利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響（売掛金に対する貸倒引当金繰入および減収）、および今後の成長のための先行的な支出（以下、「政策経費」*1）を含めた販管費の増加により、前年同期比▲99.6%の減益となった
- ◆ 連結決算における円換算時の為替レートの影響（1米ドル当たり、前年同期比1.28円の円高）は、売上高で前年同期比▲5億円、営業利益はほぼ影響なし

（単位：億円／下段は対売上高比）

| | | 2019年12月期 | 2020年12月期 | |
|--------------|----------------------|-----------------|-----------------|---------|
| | | 第1四半期実績* | 第1四半期実績 | 前年同期比増減 |
| 業績 | 売上高 | 437 (100.0%) | 430 (100.0%) | ▲1.6% |
| | 売上総利益 | 79 (18.1%) | 79 (18.4%) | +0.0% |
| | 営業利益（政策経費除く） | 15 (3.5%) | 4 (1.1%) | ▲70.3% |
| | 営業利益 | 14 (3.3%) | 0 (0.0%) | ▲99.6% |
| | 経常利益 | 14 (3.3%) | ▲2 (▲0.6%) | ▲118.6% |
| | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 10 (2.3%) | 1 (0.3%) | ▲88.8% |
| 円ドルレート（期中平均） | | 110.20円 | 108.92円 | ▲1.28円 |
| 1株当たり四半期純利益 | | 70.90円 | 7.92円 | ▲88.8% |

*1 海外マネジメントの強化や新規事業の創出のための活動費用・人件費など

アジア食グローバル事業は、北米の貸倒引当金の計上により前年同期比で減益。農水産商社事業は、暖冬の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外食需要の低迷により前年同期比で減益

アジア食グローバル事業（以下、「GAF」）

- ◆ 売上高は、SSP社を連結子会社化し増収を予定するも、欧米各国で3月中旬以降に飲食店の営業禁止・外出規制が施行され売上が急減した。また、円高による円建表記の金額減少により前年同期比+0.2%のほぼ横ばいとなった
 - ・ 北米地域は、同▲2.4%（現地通貨ベース▲1.3%）
 - ・ 北米以外の地域は、同+15.6%（現地通貨ベース+18.9%）、SSP社を除くと同▲0.5%（現地通貨ベース+2.8%）
- ◆ 営業利益は、主に北米の飲食店向けの売掛金に対する貸倒引当金繰入の計上により、前年同期比▲94.5%の減益となった
 - ・ 北米地域は、飲食店向けの売掛金に対する貸倒引当金8億円の繰入により、同▲78.0%
 - ・ 北米以外の地域は、主にマネジメント強化の政策経費の増加や飲食店の営業および外出規制に伴う減収により、同▲217.6%

農水産商社事業

- ◆ 売上高は、暖冬の影響等による柑橘類及び野菜類の荷動き停滞や新型コロナウイルス感染拡大に伴い飲食店向けの販売が減少し、前年同期比▲6.6%の減収となった。営業利益は、減収の影響により同▲81.0%の減益となった

（単位：億円）

| 事業セグメント | | 2019年12月期 第1四半期実績 | 2020年12月期 | |
|---------|------|----------------------|-----------|---------|
| | | | 第1四半期実績 | 前年同期比増減 |
| GAF | 売上 | 310 | 311 | +0.2% |
| | 営業利益 | 12 | 0 | ▲94.5% |
| 農水産商社 | 売上 | 114 | 107 | ▲6.6% |
| | 営業利益 | 1 | 0 | ▲81.0% |
| その他 | 売上 | 11 | 12 | +2.2% |
| | 営業利益 | 1 | 1 | ▲10.0% |
| 合計 | 売上 | 437 | 430 | ▲1.6% |
| | 営業利益 | 14 | 0 | ▲99.6% |

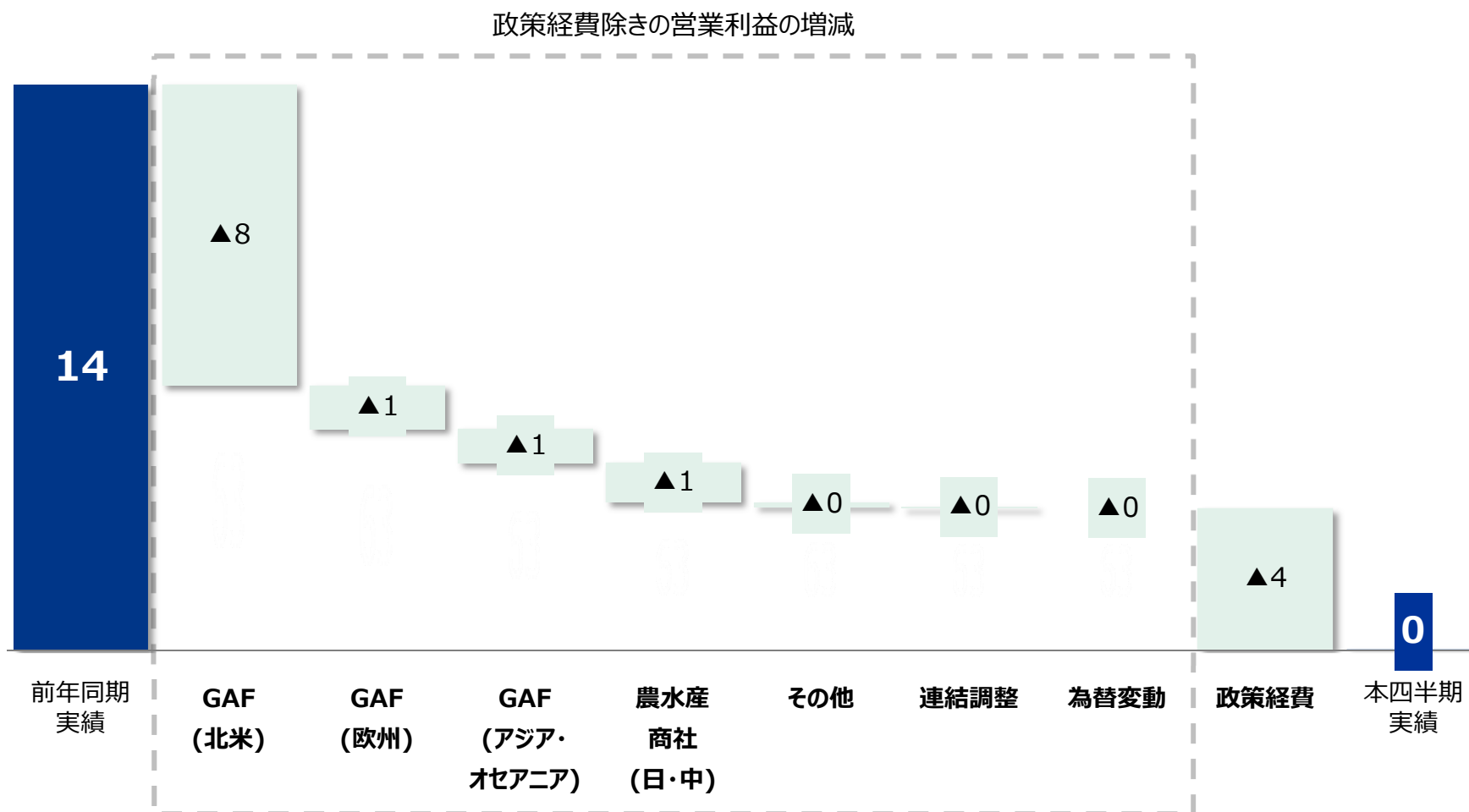
2020年12月期第1四半期 営業利益の前年対比



政策経費を除けば、減益の主因は北米での貸倒引当金繰入の計上によるもの。欧・米・日では3月中旬から外出・営業規制が始まったため、第1四半期での新型コロナウイルス感染症の影響は限定的

営業利益の差異分解
(前年同期比)

(単位：億円)



コロナウイルス感染拡大による 当社業績への影響



主要得意先である外食産業の多くが営業自粛・禁止となったことで、販売に影響がでている。今期の業績予想を適正かつ合理的に算出できないため、連結業績予想・配当を一旦「未定」へと変更する

販売面での影響（3月中旬～4月）

今後の見通し

GAF

- ◆ GAFは、主要市場の欧米で4月にかけて急激に落ち込み、厳しい状況となる
 - 飲食店向けの販売は、一時的に約30%まで落ち込むが、テイクアウト・デリバリー形態の増加により徐々に回復
 - 小売向けの販売は、内食需要の増加に伴い、前年を上回る水準で好調に推移
 - 全体では前年比60%程度で推移
- ◆ 得意先からの売掛金の期日延長を求める件数の増加

国内市場
(GAF以外)

- ◆ 青果・冷凍販売は飲食店向けの販売の減少等により前年比85%程度まで下落
- ◆ 小売店の営業自粛により催事・企画商品は販売不芳も、健康食品は好調

営業・外出規制の緩和による回復の兆しは見えつつあるものの、現時点で先行きは不透明な状況

<回復の押し上げ要因>

- ◆ 飲食店のテイクアウト・デリバリー市場参入の増加
- ◆ 政府による企業・個人への資金援助
- ◆ 世界各国で外出・営業規制の緩和・解除の動き
 - 中国
 - 欧州（ドイツ・フランス・オランダなど）
 - オーストラリア

<回復の押し下げ要因>

- ◆ 感染再拡大による営業・外出規制強化への回帰
- ◆ 感染不安・所得減少による外食忌避
- ◆ 過剰在庫解消のための価格競争の激化
- ◆ テイクアウト・デリバリー用の資材・人員の不足

各国の外出規制・営業規制の解除状況および飲食店の業況の回復状況を見極め、業績・配当予想を公表する

会社概要



- ◆「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体
 - 革新の「赤」+自然の「緑」
 - 「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」
- ◆社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

- 【Wisdom】 …(西洋智)
- 【Metta】 …(東洋智)
(パーリ語：優しさ/思いやり)
- 【Creativity】 …(価値の創造力)

「食・健康にかかわる諸問題を解決し、新たな価値を創造・提供するソリューションカンパニー」

これまで

- ◆ 食品の貿易・物流会社
 - アジア食をグローバル食へと広めるプラットフォームを提供（開発・調達・配送）
 - 世界各地から青果物を主とする食品を輸入・販売

目指す姿

- ◆ 「食と健康」における消費者のニーズ・課題に対し、自社のみならず協業先も含めたサプライチェーン全体でソリューションを提供する会社
 - 青果物栽培や食品の企画・開発・物流・販売・リスクマネジメント等の機能を兼ね備えた企業体へと進化
 - 様々な分野の最新テクノロジーなどの外部ソリューションも柔軟に活用

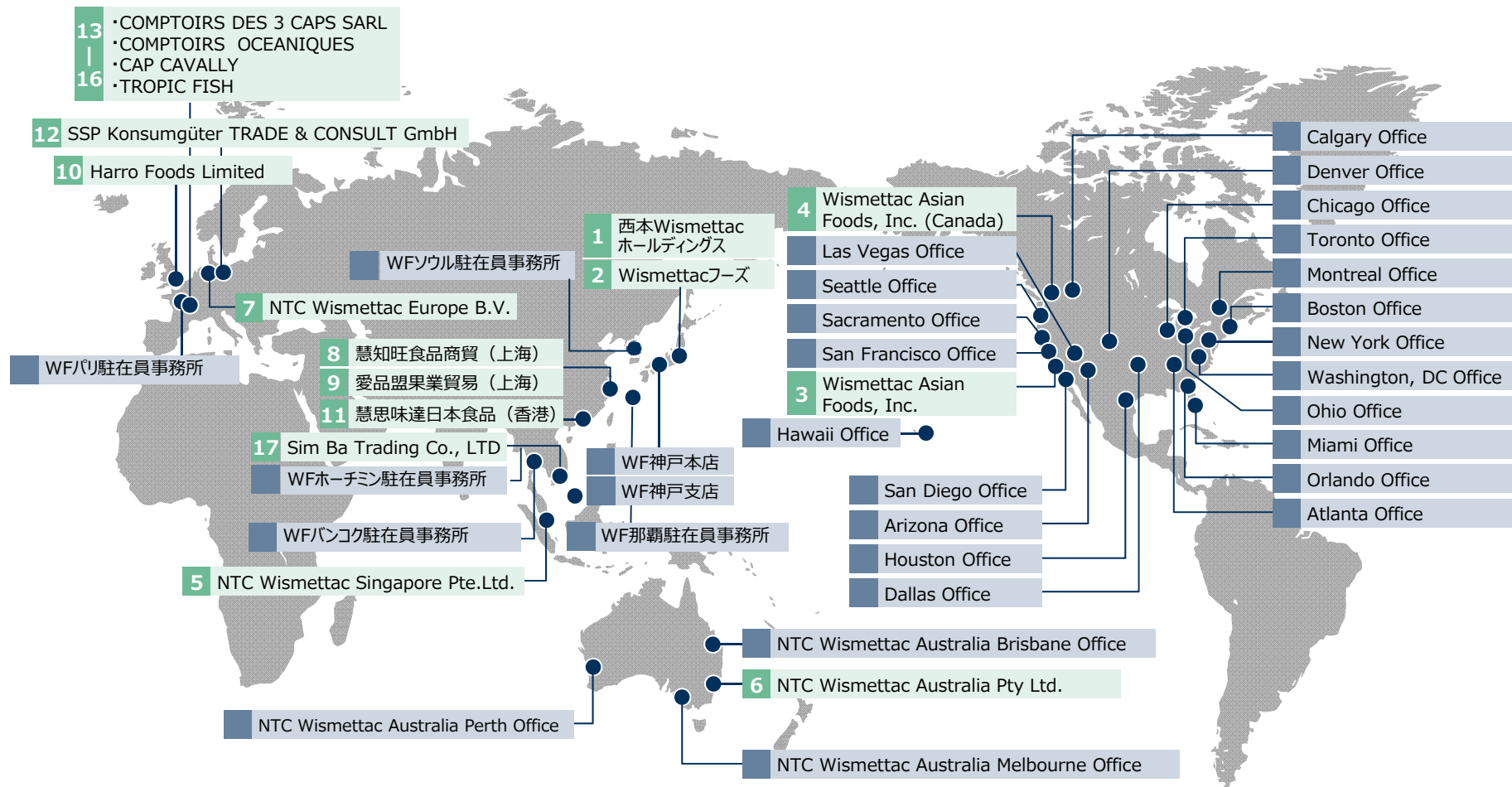
明治45年（1912年）に創業後、世界市場に食材・食品を供給するグローバル企業へと成長

| | |
|----------|---|
| 社名 | 西本Wismettac (ウイズメタック)ホールディングス株式会社 |
| 本社 | 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階 |
| 創業 | 1912年5月 |
| 代表者 | 代表取締役会長兼社長 CEO 洲崎 良朗 |
| 従業員数 | 1,671名（うちアジア食グローバル事業：1,374人） [2019年12月末時点] |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ アジア食品の開発及びグローバルでの販売 ◆ 青果物全般(フルーツ、野菜、その他加工品)の輸入販売、食品メーカー並びに 外食産業向けの食材の供給 |
| 子会社、関連会社 | 子会社11社、関連会社5社 |
| 拠点所在地 | 世界49か所（うち北米拠点：24か所） 日本・米国・カナダ・シンガポール・オーストラリア・オランダ・英国・ドイツ・フランス・中国・ 香港・タイ・ベトナム・韓国 |
| 連結売上高 | 1,826億円 [2019年12月期] * 海外売上比率67.7% |
| 連結経常利益 | 45億円 [2019年12月期] |
| 自己資本比率 | 54.2% [2019年12月期] |

西本Wismettac : 国内・海外拠点一覧



全大陸で事業展開しており、グローバルでは北米、欧州、豪州、アジアで49拠点を有する
 そのなかで、北米（アメリカ・カナダ）は24の拠点を有し、売上の過半以上を占めるエリアとなっている



図表中の“WF”は“Wismettacフーズ”の略

北米を中心に世界各地で日本食を中心としたアジア食品・食材等を販売。商品開発・企画から販売・配送までの自社一貫商・物流を実現

一貫通貫のサプライチェーンマネジメント

商品開発・企画

仕入・調達

通関

保管

販売

分荷・配送

PB商品開発力

「Shirakiku」ブランドの売上構成比約40%
(北米、2019年実績)



自社物流機能（トラック・倉庫）



取扱い製品の幅広さ及び多様な仕入先 (約7,900アイテム)

- ◆ グローバルに最適な産地を選定が可能
- ◆ 生産者と協同で顧客ニーズに沿った商品開発
- ◆ 法令に準拠した生産及び品質管理体制

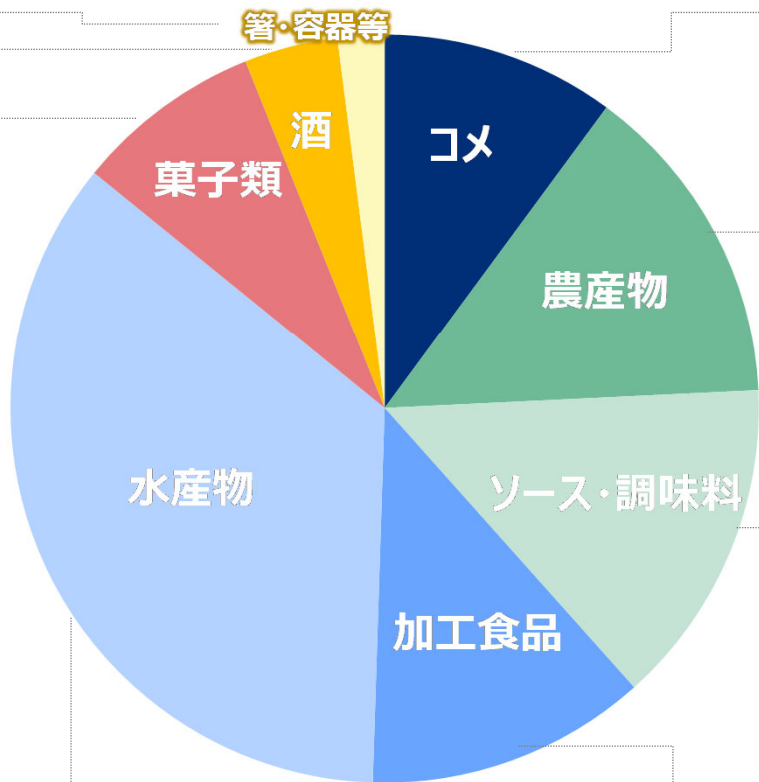
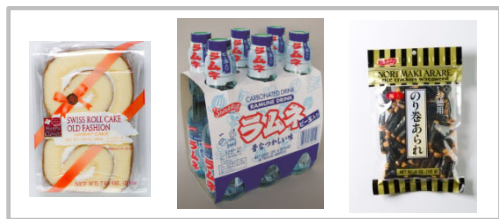
営業体制及びグローバルな拠点網 (北米24拠点・世界49拠点)



グローバルなアジア食品の販売チャンネルとのネットワーク・各国の関連法規制のノウハウ

日本食を中心としたアジア食品・食材等を米国、日本、中国、東南アジア等から輸入・調達し、約7,900アイテムに及ぶ商品を北米を中心にグローバルに販売

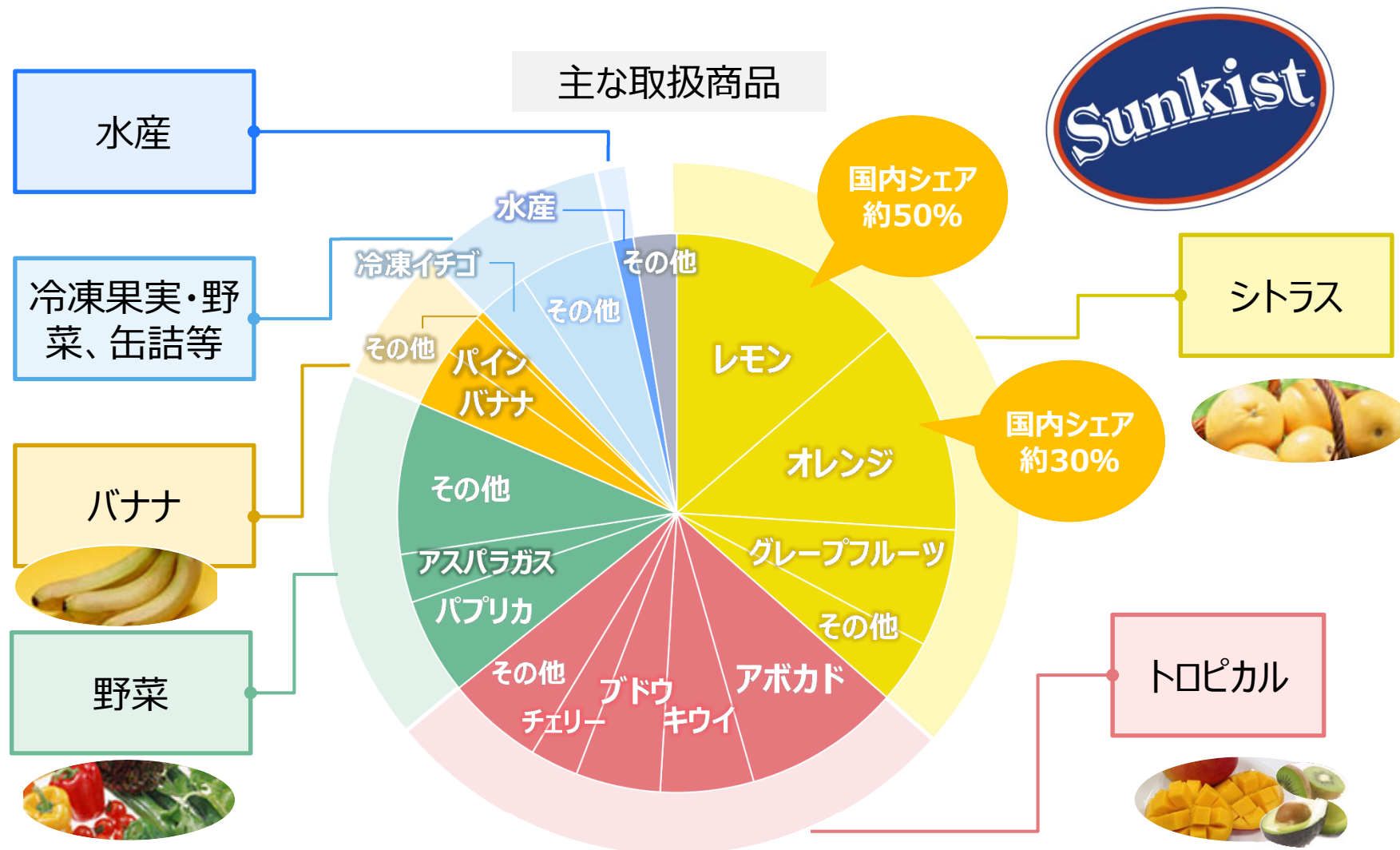
主な取扱商品



主要事業セグメントの紹介：農水産商社事業



日本国内の青果市場・小売・外食といった幅広いお客様に生鮮青果・冷凍品を中心に輸入販売。
サンキスト・グローブズ社の日本輸入総代理店として、輸入柑橘類で高いシェアを誇る



*財務省貿易統計より当社にて算出

注意事項

本資料は、西本Wismettacホールディングス株式会社および関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。

本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

西本Wismettacホールディングス株式会社
経営企画部
TEL : 03-6870-2015

